

スキーくらぶ望峰・総会

と 2025 年シーズンイベント

通信担当 藤岡 2024年9月発行

クラブ望峰では、9月8日(日曜日) 2024年度総会を「あうる京北」でおこないました。JR二条駅から会場へ送迎バスで出発。お天気も良く爽快な1日でした。到着後早速バーベキューを2つのテーブルに分かれてお皿の食材を鉄板で焼きながら贅沢なバーベキュー開始。会場は貸し切り状態。堀田会長の乾杯の音頭でスタート。久しぶりの再会と新しい会員の方も混ざって近況など交流しました。

少しアルコールが入り、お腹が満たされたあと総会会場へ移動し総会開始。新しく今回入会され総会初参加の喜古さん、佐々木さん、原さんから自己紹介を受け、参加者も順次自己紹介して和やかに総会進行しました。今回の総会の参加者は9人。小山事務局長から2024年のシーズンの取り組みのまとめが報告いただきました。望峰会員数は通信会員いれて24名になりました。



2025年シーズンの取り組みについては、いろいろな意見がでて大いに盛り上がりました。「もう

すぐクラブ創設40年なのでそれを記念してカナダスキーツアーを計画しよう」などなど。

なにはともあれ、いつものようにたくさんスキーツアーの計画を決定。全てできたらいいのになあと思いつつ、会費を集めて総会は終了。玄関で記念撮影し、京都市内への帰途につきました。

総会参加の皆さんお疲れさまでした。総会参加されたかたも、今回残念ながら参加できなかったかたもスキーツアーでいっしょにスキー堪能しましょう。

それから来年の総会は、まず総会をしてから、ゆっくりバーベキューアンドお酒ということになりました。送迎も10名以上集まらないとJR二条駅まで送迎していただけないとのこと。来年の総会にはみなさんご参加をお願いします。

(会場の従業員さんから、お酒飲んでから総会ってすごい「会」だなあと感心？されていたようです。いわれてみれば そうですね。)

決定した 2025 年シーズン行事(イベント)

(1)11月24日(日)愛宕山登山とポタン鍋

11月中旬に解禁になるとはいえ「しし」肉は捕れるのか？愛宕山に登る人・昼食先へ現地集合する人などいろいろなパターンで参加OK。クラブ外の方もお誘いしておおいに盛り上がりましょう！！

今年は日曜日開催 参加申し込みは、11月16日までに 小山さんまで申し込みを

(2)正月ツアー 志賀高原スキー場 例年恒例のスキーツアー 宿泊は山楽

日程は、1月1日(水)夕方出発で1月5日(日)まで いつもは、4日に帰ってきますが今回は5日まで延長。雪不足でも中止となったことはありません。ただし今回はプレ企画は残念ながら断念。

(3)1月 蔵王温泉スキー場ツアー

1月23日(水)夜行バスで出発 1月27日(月)夜行バスで現地出発 1月28日京都帰着
日程はある程度この期間であれば自由に設定可能。雪質・景色・ゲレンデの広さ いずれも十分満足できるゲレンデです。今年は、残念ながらリフト代が値上がります。

(4)2月 野沢温泉スキーツアー

2月8日(土)早朝出発で2月11日帰着
毎年クラブ望峰企画で一番参加者が多い企画。クラブ外のかたの参加も多い。シーズンのメインの祭日含む日程でゲレンデ混雑していますが昼食を予約したり「空いてる」ゲレンデで滑走したり、温泉めぐりも好評です。

(5)京都スキー協企画 京都スキー協バスツアー 日程 2月14日(金)夕方出発 2月16日帰着

梶池高原スキー場 宿泊場所もスキー場にほぼ隣接していてスキー場までのアクセスはバッチリ。コロナ禍で中止していた「京都スキー協」のバスツアー。京都スキー協の役員から「いつも望峰からの参加者が少なくて寂しい」と。昨年は3月の企画でクラブ交流会に変更となりました。望峰のメンバーだけでなく京都スキー協のほかのクラブの方や京都スキー協未加盟の方も集うバスツアー。スキー教室もあるしもちろんフリー滑走も可。

(6)3月ツアー 3月8日(土)早朝出発 3月11日帰着 乗鞍高原スキー場

宿泊施設は、乗鞍高原休暇村。スキー場は大きくはありませんが、観光バスなどが入ってこないの比較的空いている。アフタースキーでバイキングの朝食・夕食は大好評。文字通り「おいしくて食べきれない」。施設もきれいなので望峰ツアーでは根強く好評。

(7)クラブの企画だけでなく、京都スキー協の企画・全国・関西のスキー協の企画などもありますので興味のある方は積極的にご参加ください。

(8)4月以降の企画は、オフシーズン企画となるので未定。例年 時々のツアー参加のクラブ員で相談しながらみなさんへ連絡しています。



9月になっても暑い日が続いています。本当に今年の冬に雪は降るのか？ 一方で、人口降雪機を新設して11月中旬くらいのオープンを目指しているスキー場もあります。環境問題としての温暖化の問題・物価高騰の流れのなかでのリフト代の値上げなどスキーを楽しむ上で考えていかなければならないことも多いと感じます。
なにはともあれ クラブのイベントで 元気に
雪上でお会いしましょう。